

祠書雜識

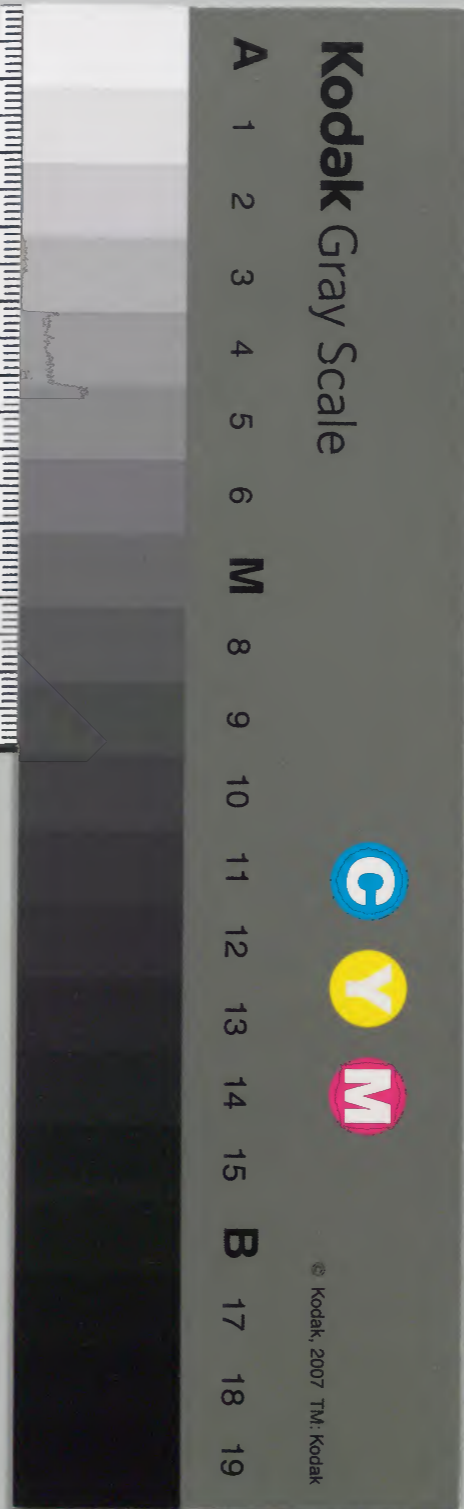
卅四

和書門類			
二	一	一	二
八	〇	〇	八
七	二	二	七
冊	架	函	號

內閣文庫		和書
二	二	二
二	七	八
函	二	七
三	冊	號
架		類

(四四六)

內閣文庫		
番號	和	22887
冊數	72 (44)	
函號	212	302



目錄

井上正利 遊行上人大井川越立一件

御免勸化規矩 八 私領仕置御定

御朱印燒失例 覺樹王院 古跡立願

攝州普門寺古塔 三田功運寺由緒

朝熊岳金剛證寺什物 淺草川禁殺生



祠曹雜識

卷四十四

同曹雜識
金剛寺
三田
古
井上

同曹雜識卷四十四

明治十五年購

井上河内守正利寺社奉行ノ時イカナル知識能
化ニテモ公事沙汰ノ時ニハ小僧小僧ト呼ル何
レノ寺ニカアリケン一寺ノ本寺タル出家公事
ニ出タルニ例ノ如ク小僧ト呼ル、故件ノ出
家立腹シテ拙僧モ一寺ノ本寺タル格ニテ候ヲ
小僧トハアマリナル御事ト申ス河内守答テ其
格ヲ知ラサルニテハナシ然レトモ本寺ノ職多
トシテ其下ノ出入自カラ取扱治ルナラヌ奉
行所へ持出入程ノ智ノ薄キ事何程碩學多リト



モ其才智ハ小僧ニ等シ但夫ニテモ知識多ルヤ
トアリケレハ出家開口セシトナリ又或時登城
イタサレ部屋ノ戸ヲ明候ヘトテ吉田加兵衛ト
申者ヲ差越サレ候ニ加兵衛鎰ヲ落シ可明様ナ
ク色々身ノ廻リ其邊ヲ尋ル所ヘ正利参ラレ如
何シテ戸ヲ明申サヌト申サレケレハ加兵衛
畏リシカシカノ由ヲ申私儀ハ何様ニ成候トモ
是非ニ及ハス候ヘトモ御前様ヘ御耻辱ヲ掛候
彼何トモ仕ヘキ様コレナク候トテヒレフシケ
レハ河内守何ノ迷惑ナル事アルヘキ錠又ケト

テ錠ヲ拵切セ内ヘ入御城ノ鍛冶左市ト申者ノ
方ヘ申遣シ早ク錠鎰ヲ持参イタシ錠ヲ我等同
役ノ數拵テ一刻モ早ク持セ越候ヘト申遣ヘク
旨申サレ候故其通左市方ヘ申越其日ノハツ前
ニ出来テ其錠鎰正利前ヘ加兵衛持出候ヘハ手
紙ヲ認ヨトテ文言ヲ好マレケル様ハ我等家來
部屋ノ鎰ヲ落シ申候故拵直シ候明日ヨリ此錠
ニテ御明有ヘク由銘々ヘ申越レシトナリ其後
小笠原山城守御城ニテ正利ヘ申サレケルハ昨
日差越レ候錠ニ付テ御禮申事有之候足下ノ御

了簡ニテ同役中ノ家來共傘捨イタシ候下悉シ
ト申サレケルハ正利ソレハ如何ナル下ニテ候
ヤト申サレケルニ某家來ナト鍵ヲ落シ候ハ、
タレカニ腹ヲ切セ申ニテ有ヘク候然ラハ貴方
御了簡ヲ以手本トイタシ重テ誰カ家來落シ候
テモ其許ノ致サレシ如クニテコレアルヘク候
ヘハ子細ナク候御才力ノ程感入候ト申サレシ
トイノ膽量ノ快活仰クヘシ
文政十一子年遊行上人 大井川越立ノ一件左ノ
如シ古來上人ハ度外ノ人故ニヤカ、ル禁網ニ

漏レタル下モアリケルナリ今常人ト等ク汰令
ヲ以テ推ス時ハ高僧トイヘトモ免ル、下アタ
ハス彼モ一時此モ一時ナルヘシ

遊行上人 大井川越立之儀ニ付伺書

松平伊豆守

遊行上人 巡行之節 大井川越立場所之儀前
々ヨリ 遠州川尻村之内 小山組ヨリ 同国相
川村江越立候仕來之由 右越立之節 川尻
村支配御代官ヨリ 村々江人夫觸當無差支
越立候儀ニ付 今般之儀モ先例之道筋越立